

三小タイムズ

令和2年10月15日発行 校長 辻 久恵

オリンピック・パラリンピック教育の推進（4年生）

4年生は、総合的な学習の時間に「体の不自由な方々とともに」という学習をしています。この学習は、オリンピック・パラリンピック教育で育成すべき5つの資質の中にある「障がい者理解」につながっています。

13日に市内在住の車いすダンサー神原 健太さんにお越しいただき、お話をうかがったり、実際にダンスをみせてくださったりしました。

パラリンピックのリオ大会の閉会式で踊られた経験がおありの神原さんのダンスは、車いすを自由自在に操り、とても素晴らしかったです。子どもたちは、あまりの素晴らしさに心を打たれたようです。

お話の中でとても印象に残ったことがあります。それは、買い物をしているときに、知らない人から「頑張って」と言われ、イチゴを渡されたことがあるが、普通に接してほしい、とおっしゃっていたことです。

いろいろな立場の人とともに生きていることに気づき、相手の立場や気持ちを理解しようとする、体が不自由な方々の生き方にふれることにより、今の自分にできることは何か考えること、という単元の目標に直結するととても有意義な学習をすることができました。

神原 健太さん、そして、神原さんを紹介して下さった地域学校協働本部コーディネーターの方、ありがとうございました。



多摩川探検隊（3年生）

3年生の総合的な学習の時間に「多摩川探検隊」の学習があります。

探検の計画を立てる→探検する→採取した多摩川の生き物や植物についてインターネットや図鑑を利用して調べる→調べたことをカードにまとめるという学習活動を通して、多摩川とそこに住む生き物や植物に興味・関心をもつことを目標にしています。

本日、「おさかなポストの会」の山崎 あゆかさんを講師にお招きして多摩川の河川敷に自然観察に行ってきました。

山崎さんは紙芝居を見せながら、ライフジャケットの正しい着方や川へ行くときの約束事を説明してくださいました。

子どもたちはしっかりお話を聞いて、山崎さんが作ってくださった橋を渡りながら活動することができました。石や植物、昆虫を見付けることに瞳を輝かせ友達と喜び合っていました。

多摩川にはたくさんの種類の石があり、珍しい蝶もいました。投網の仕方も見せていただきとても有意義な学習ができました。

捕れた魚は、教室の水槽に入れて観察しています。山崎さん有難うございました。

